

SEMMOTO NEWSLETTER

2019.12.13 No.2

CONTENTS

- ◆ 第2期千本奨学生の認定証書授与式
- ◆ 研修旅行（秋田）
- ◆ 第1期千本奨学生・9月末奨学生レポート



第2期千本奨学生の認定証書授与式にて



公益財団法人

千本財団

Frances and Sachio Semmoto
Foundation

■第2期千本奨学生の認定証書授与式

2019年10月に第2期千本奨学生4名の採用が決定し、11月16日（土）に都内会場にて、認定証書授与式を執り行いました。

懇親会には当財団の代表理事、評議員、第1期千本奨学生、レノバ有志の方にご出席いただきました。特に第1期生には第2期生に向けて大学受験対策や大学生活について、自らの体験を語っていただきました。このことで第1期生には先輩としてがんばっていかなければならないという気持ちが、第2期生には大学受験に向けてより一層勉強に励もうと気持ちが生まれ、お互いに有意義な時間を共有することができました。



千本代表理事から第2期千本奨学生に認定証の授与。



認定証授与後、第2期生の自己紹介。みんな緊張しています。



第1期生から第2期生へ、大学受験対策や大学生活についての話。



初め、緊張でガチガチだった奨学生たちでしたが、徐々に場が和んで、楽しく会話ができるようになりました。

□新しい奨学生のご紹介

第2期千本奨学生は、以下の4名です。出身国は、マレーシアが2名、インドネシアとベトナムが各1名、3名が女性、男性が1名となりました。将来の夢、学びたい学問についてもそれぞれ異なり、バラエティにとんだ奨学生です。

LIM AN QI

リン アン チ
マレーシア
メロス言語学院



第2志望の京都精華大学マンガ学部アニメーション学科に合格し、進学することが決まりました。将来の夢は、アニメーターになることです。

事務局から

第1期千本奨学生は、全員関東近郊の大学に進学していますので、千本奨学生では初めての関西圏の大学進学者になります。認定授与式では、自分で書いた素晴らしい作品を皆の前で披露してくれました。

MELLISA ARDELIA

メリサ アルデリア
インドネシア
JET日本語学校



化学に興味があり、将来は化学の研究者になって、自分の研究成果を社会や学生に伝えていきたいと考えています。第3志望の東京理科大学理学部第1部化学科は合格しましたが、これから第1志望、第2志望の大学受験があるので、受験勉強をしっかりとがんばります。

事務局から

これから難関大学合格を目指し、勉強をがんばっています。11月の日本留学試験が難しく、手ごたえを感じなかったと言っていましたが（おそらく皆そうだったのでしょう）、ぜひ希望の大学への合格を勝ち取ってほしいです。

CHEAH JIA YI

チャー ジャ イー
マレーシア
淑徳日本語学校



自然に分解できないプラスチックゴミ問題の解決に興味があります。私は、プラスチックゴミ問題を解決するために、自然に分解できるバイオプラスチックの研究・開発をし、研究成果を社会や学生に伝えていきたいと思っています。第3志望の東海大学工学部生命化学科に合格しましたが、これから第1志望の大学受験を控えています。

事務局から

最年少の17歳です。来日したのも他の3人よりも遅い今年の4月ですが、しっかりとした日本語で自分の気持ちを伝えられる優秀な学生です。

NGUYEN BAO HUNG

グエン バオ フン
ベトナム
日本学生支援機構
東京日本語教育センター



大学では、経営学、マーケティングを勉強し、将来は日本の会社で数年間働いた後、母国でマーケティング会社を設立したいと考えています。受験は何校か受験しましたが、第1志望から第3志望までの大学受験はこれからで、試験対策をがんばっています。

事務局から

第1志望から第3志望まで全て国公立大学です。難関大学が多いので、がんばってほしいです。ベトナム出身者のよさこいサークルに参加していて、社交的で人懐っこい笑顔が素敵な学生です。

■研修旅行（秋田）

2019年8月9日(金)～10日(土)の1泊2日、第1期千本奨学生3名の研修旅行として、秋田県にあるバイオマス発電所（ユナイテッドリニューアブルエナジー）および発電の燃料として使われている秋田県内の未利用材を使用した木質チップ生産事業者を見学しました。

バイオマス発電所の燃料としてチップとともに使われているPKS（アブラヤシの実からパーム油を搾ったあとの副産物）が、奨学生の母国、インドネシアやマレーシアから輸入されていると聞いた奨学生は、母国でゴミになっていたものがここで有効活用されていることに驚いていました。

これらの見学の他、抱返り溪谷と田沢湖の観光、ナマハゲが登場する居酒屋で夕食を食べるなど、奨学生にとって貴重な体験をえることができました。



■研修旅行の感想

- ①ユナイテッドリニューアブルエナジー訪問の感想
- ②秋田観光、研修旅行全体に関する感想

SABRINA MEGUMI AHMAD
(インドネシア)

①はじめての工場への訪問でしたので、楽しかったり驚いたりしました。色々な場所に案内されて単純に凄いと思いました。そして発電や発電所のことについてを一つ一つ説明されて発電の仕組みなどを少しは理解することができました。

小さくてゴミ扱いされている種が経済を大きく回せることを知り、どんな小さいものでも役に立つんだなと思いました。その上、私の母国が大きく関わっていることを知り、自分の国でもまだ知らないことがたくさんあると感じました。

②秋田への第一印象は杉の木がすごく多いことです。

二度目の温泉でまだなれてないのですが、凄く気持ちよかったです。そして人生二度目の新幹線ですが、はじめて乗った時の思い出はなかったため、新幹線に乗るのがすごくワクワクでした。



TAN ZU SHENG
(マレーシア)

①私は生活している時いつも電気を当たり前なように使っていましたが、今回の見学を通じて、電気について色々勉強することができました。自然豊かな秋田県では木が使われなくなってしまった林業の現状をどのように復興するかという課題もあるそうです。そこで、ふつうに発電しているのではなく、この会社は切られた木を使って小さなチップにして、それを燃料として使っています。そうすることで、林業も盛んになります。発電の燃料も確保できるようになります。これは県にとっても良いものだと思います。それだけでなく、マレーシアとインドネシアではアブラヤシからパーム油を搾り出し、残ったカスを捨てていましたが、その中にある核のようなもの、PKSが燃料として使えるとわかりました。これはマレーシアとインドネシアの経済にもいい影響があるとおもいます。

②発電の仕組みを始めとして、秋田についても色々勉強になりました。自分は発電に関する知識はなかったので、今回の研修旅行を通して、本当にたくさん貴重な知識が身につけられました。スタッフのみなさんも親切に接してくれました。宿泊先も施設が整っていて、久々に良く休むことができました。こんな素晴らしい旅行に行けて良かったと思います。



VU KIM QUANG
(ベトナム)

①ユナイテッドリニューアブルエナジーを訪ねて、色々と勉強になりました。木の普段使わない部分を利用して、電気を作ることは今まで考えたことが一度もありませんでしたが、今回のユナイテッドリニューアブルエナジーにきて説明を聞いて、自然の資源の扱い方を改めて考えることにしました。木の普段使わない部分がうまく利用できると、森の木を育てるところが確保できて、クリーンエネルギーが作れる他、仕事を増やすこともできます。そうすると、若者を引き寄せることができ、仕事があると、その周辺の生活も良くなり、町の発達には非常にいいのではないかと思います。しかし、なによりも使いようがなさそうな資源でクリーンエネルギーが作れることはこれからの自然確保とエネルギー確保の問題に繋がるとおもいます。ベトナムもそういうことできると、空気汚染問題がある程度まで解決できて、電気確保もできて、生活が確実に良くなるのではないかと思います。

②秋田研修旅行に参加して良かったと思います。色々と勉強になりました。特に資源の扱い方と発電について改めて考える必要があったと思いました。そして、普段は電気を当たり前のように使ってきましたが、今回の研修旅行を通して、電気がどのように作られるか、どんな工夫や問題があるか、少しでもわかるようになりました。財団の方と話したことで、自分の目標を確信して、自分と同じ理想な世界のアイデアを持っている人がいるということがわかりました。目標を達成するため、そういう理想な世界を実現するため、今自分ができることを頑張ります。また、最後に尋ねたところの景色は良かったと思います。あんなに青い水を見たのは初めてでした。写真をたくさん取りました。

■第1期千本奨学生・2019年9月末奨学生レポート

- ①前期学んで良かった講義について ②前期学ぶのに苦労した講義について
③後期に向けた抱負

SABRINA MEGUMI AHMAD (インドネシア)

①私が学んでよかったと思うのは物理学概論の授業です。この授業では、高校まで勉強した物理学の法則、公式がどうやって導かれたか、どうしてこのような公式になったのかを学べたことができ、今まで勉強したことには色々納得した気がします。そして健康科学という運動の授業では、運動の大切さを知り、「スポーツって意外と楽しい」と感じられるようになりました。そして色々な人とコミュニケーションを取らないといけない時があり、コミュニケーション力を高め、友達もできました。

②私にとって学習に一番苦労した授業は解析という授業です。初めて聞く用語もたくさんあり、内容を全然理解できなくて頭が真っ白になった時もありました。そこで、予習や復習をし、友達と一緒に勉強したりして、少し遅れた気もしましたが、やっと授業に追いついたと思います。そして英語にも苦労しました。私は英語の文法がとても苦手で文法の法則を中々覚えられなくて苦労しました。そして授業内で隣の人と英語で話す時間を与えられて、友達以外の人と英語で話す自信がなかった私は、何話せばいいか、こんな英語であっているのかと色々不安でした。しかし、すごくいい勉強になりました。

③後期では様々な分野の授業を受けたいと思っています。生活面では、大学入学以来自炊する機会がすごく減ったので、後期からまた自炊などしたいと思います。

TAN ZU SHENG (マレーシア)

①前期の学習を通して、専門的な知識を色々学ぶことができました。まずは一番重要なプログラミングについて勉強しました。前期ではプログラミングの科目は講義と演習に分かれています。講義では講師がプログラミングについて説明し、ソースコードの書き方を教えてくれました。そして演習の時間に自分で電子テキストを読んで、講義で学んだことを自分でソースコードを書いてみて、主に自習の時間です。これを通して、プログラミングの働きだけでなく、その作り方についても把握することができると思います。プログラミングはそんなに上手ではありませんが、今よりさらにいい成績をとって、頑張っていきたいと思います。

②前期でもっと苦労した科目は微積分です。マレーシアでは数学は特に得意な科目でしたが、初めて日本に来て、日本の高校で教えられている数学はマレーシアの数学よりはるかに難しいと確実に見えます。大学では数学に関係のある科目が3つあります。確率・統計、線形代数と微積分です。確率統計と線形代数は最初マレーシアのとあまり変わらないからまだついていけます。しかし、微積分だけは合格する自信があるとは言えません。プレメントテストでもいい成績が取れないため、集中講義を履修させられ、微積分の授業が週に二回になってしまいました。しかし、難しいとかできないなどの理由でこのまま不合格にするわけにもいけないから、毎週出された宿題をやって、できない問題はネットで解き方を探してみてもまた挑戦してみるなど色々頑張りました。試験に臨むためにも過去問をやりました。結果的には合格できましたが、いい点数とは言えません。ですが、後期は前期よりも頑張っただけよりもいい点数を挑戦して見たいと思います。

③後期は前期よりも頑張っただけよりもいい成績をとりたいと思います。後期は専門科目の数がまた増え、知らないことに触れるチャンスも増えました。もちろん授業がだんだん難しくなるかもしれませんが、諦めることなく頑張りたいと思います。

VU KIM QUANG (ベトナム)

①前期が終了、振り返ってみると学んでよかった科目は2つあります。1つは機械工学通論でした。この科目の授業で友達とグループを組んで、一緒に風車の羽根の形から材料まで自分で考え製作したのでエンジニアの仕事はどんな感じが少しわかってきました。また、周りの人とどのように協力すればいいか、グループで仕事をするとき自分の得意なこととやるべきことは何かわかりました。2つ目はコンピュータグラフィックスでした。自分は高校からプログラミングに興味を持って、少し勉強しましたが、受験の勉強がありましたので続けられなかったのですが、大学に入ってまた学べてよかったと思います。今理科大のコンピュータ環境で自分が作りたいプログラムだったら一人でも作れると思います。

②前期で苦労したのは物理の講義でした。一番大きい原因はベトナムの高校で教えられた知識の内容が日本の高校で教えられた知識と違いが多かったからです。日本で大学の受験勉強をしていた時はある程度まで自分の足りない知識を学びましたが少し足りませんでした。先生が授業で説明するのが少なく、ほとんどが自分で勉強しなければなりませんので、教科書の内容を理解するのに少し時間がかかりました。また、自分に最適な勉強法もわからなかったので物理の勉強は大変でしたが、後期になって先生が授業で丁寧に教えて、注意するべきところとどんな風に勉強すればいいかも話してくれましたので、前期よりはいい結果を出せると思います。

③後期になって、自分がやらなければならないことが3つあります。1つ目は、GPAがあまり良くないので後期は勉強にもっと集中して点数を改善して、自分の知識を増やしたいです。2つ目は毎日学校で勉強する時間以外自分の5時間の勉強を保ちながら部活やサークルの活動も続けることです。3つ目は自分の専門の本や参考書をたくさん読むことです。